

資料3

(新潟市防災会議資料)

平成 27 年度

関係機関の防災対策の取組み

水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

＜ソフト対策＞・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

＜ハード対策＞・「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

＜危機管理型ハード対策＞
○越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進
いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

＜被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)＞
法面植栽
天端のアスファルト等が、越水による侵食から堤体を保護(福野川水系西田川、平成27年9月関東・東北豪雨)

堤防図
H=3m
2.0
1.5
1.0
0.5
0
0.5
1.0
1.5
2.0
2.5
3.0
3.5
4.0
4.5
5.0
5.5
6.0
6.5
7.0
7.5
8.0
8.5
9.0
9.5
10.0

＜洪水を安全に流すためのハード対策＞
○優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

＜住民目線のソフト対策＞
○住民等の行動につながるリスク情報の周知
・立ち退き避難が必要な家屋倒壊危険区域等の公表
・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
・不動産関連事業者への説明会の開催

○事前の行動計画作成、訓練の促進
・タイムラインの策定

○避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
・水位計やライブカメラの設置
・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供

※ 河川堤防の決壊に伴う洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方 答申 ～ 社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築 ～

○行政・住民・企業等の各主体が水害リスクに関する知識と心構えを共有し、氾濫した場合でも被害の軽減を図るための、避難や水防等の事前の計画・体制、施設による対応が備えられた社会を目指す。

○対応すべき課題

- 危険な区域からの立ち退き避難
 - ✓ 市町村・住民等の適切な判断・行動
 - ✓ 市町村境を越えた広域避難
- 水防体制の弱体化
- 住まい方や土地利用における水害リスクの認識の不足
- 「洪水を河川内で安全に流す」施策だけで対応することの限界

○住民目線のソフト対策への転換

これまでの河川管理者等の行政目線のものから住民目線のものへと転換し、利用者のニーズを踏まえた真に実践的なソフト対策の展開を図る

- 円滑かつ迅速な避難の実現
 - ・家屋倒壊危険区域等、立ち退き避難が必要な区域を表示するなど、避難行動に直結したハザードマップに改良
 - ・広域避難等の計画づくりを支援する協議会等の仕組みの整備
 - ・スマートフォン等を活用したプッシュ型の河川水位情報の提供 等
- 的確な水防活動の推進
 - ・水防体制を確保するための自主防災組織等の水防活動への参画 等
- 水害リスクを踏まえた土地利用の促進
 - ・開発業者や宅地の購入者等が、土地の水害リスクを容易に認識するため、様々な場所での想定浸水深の表示
 - ・不動産関連事業者への洪水浸水想定区域の説明会等の開催 等

○危機管理型ハード対策の導入

従来の「洪水を河川内で安全に流す」対策に加え、氾濫した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入する

- 減災のための危機管理型ハード対策の導入
 - ・越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進
 - ・堤防構造の工夫や氾濫水を速やかに排水するための排水対策等の「危機管理型ハード対策」とソフト対策を一体的・計画的に実施するための仕組みの構築 等

「洪水を安全に流すためのハード対策」

平成27年9月関東・東北豪雨を踏まえて設定した、堤防整備・河道掘削等の流下能力向上対策、浸透・パイピング対策、洗堀対策に関し、北陸地方整備局12水系の直轄河川管理区間における優先的に対策が必要な区間約131kmについて、平成32年度を目途に、今後概ね5年間で対策を実施する。



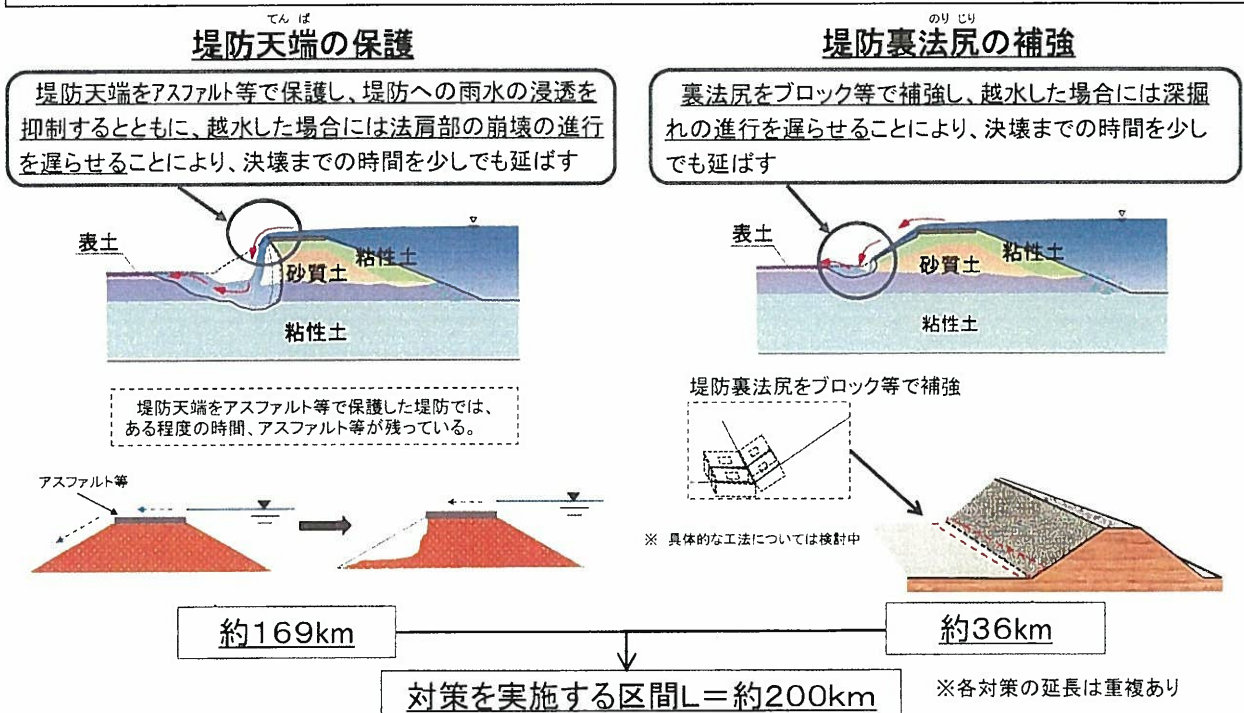
優先的に対策を実施する区間L=約131km

※各対策の延長は重複あり

※1 パイピング:地盤内にパイプ状の水の通りみちができること
※2 水衝:洪水の流れが堤防や護岸に直接あたること

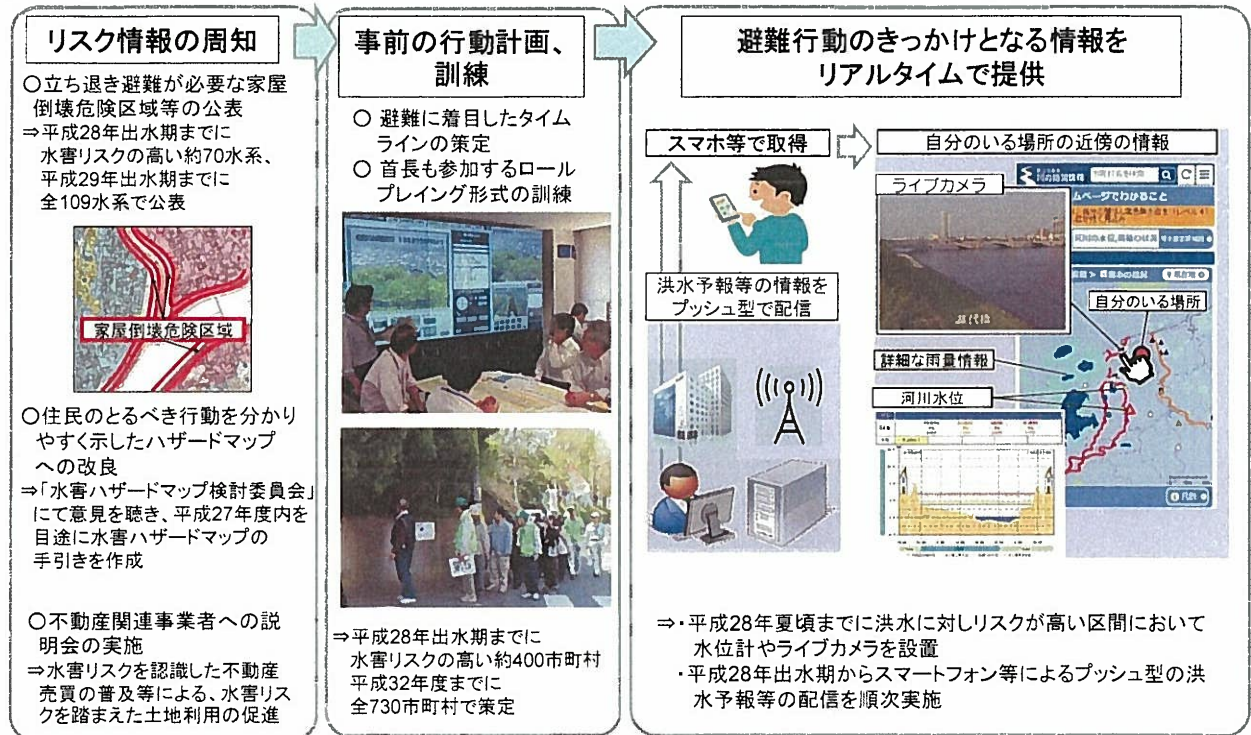
「危機管理型ハード対策」

氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランス等の観点から堤防整備に至らない区間など、北陸地方整備局12水系の直轄河川管理区間における約200kmについて、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策を平成32年度を目途に、今後概ね5年間で実施する。



住民目線のソフト対策

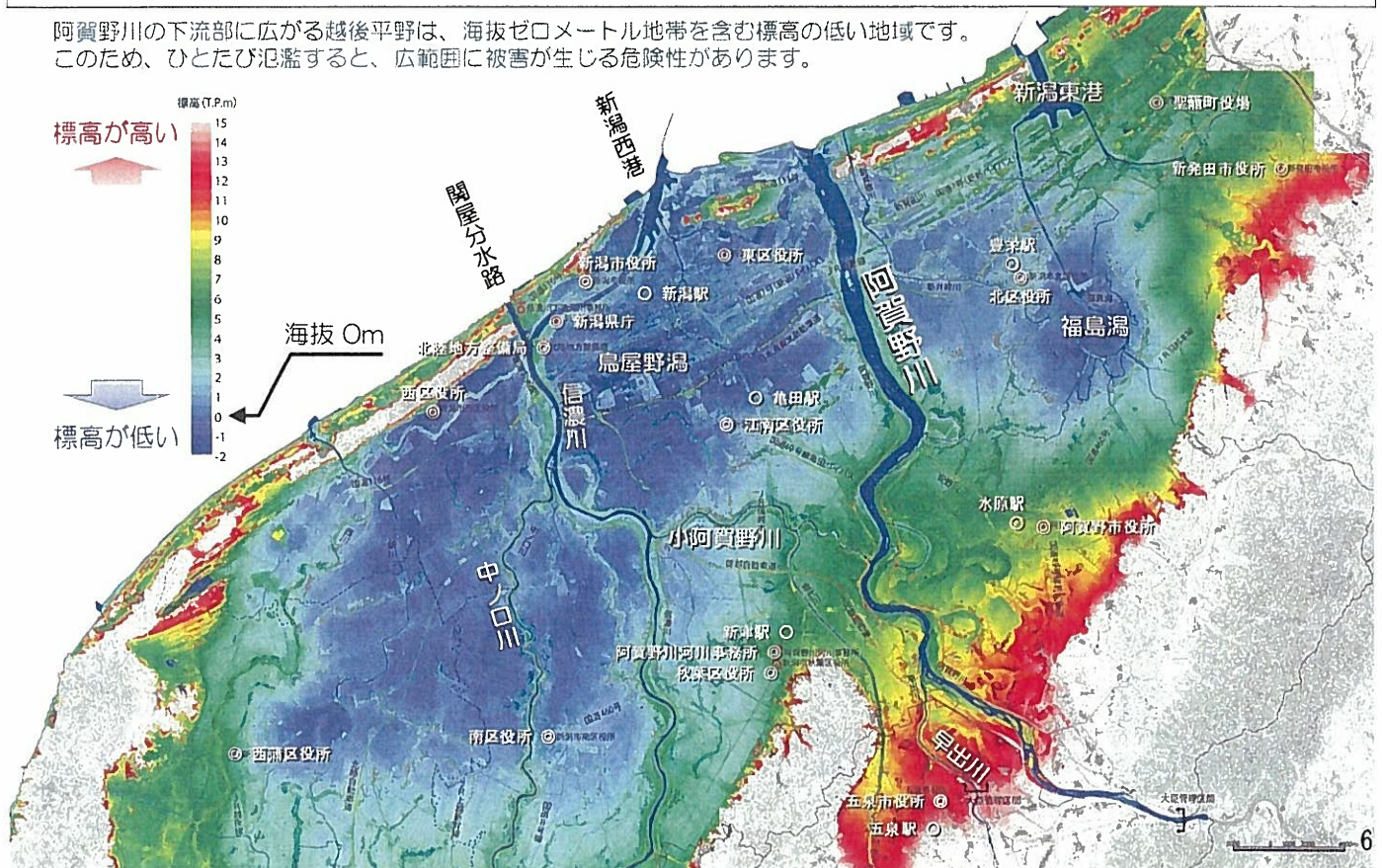
○水害リスクの高い地域を中心に、スマートフォンを活用したプッシュ型の洪水予報の配信など、住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるように住民目線のソフト対策に重点的に取り組む。



低平地を抱え水害時の浸水深が大きく、浸水継続時間が長い

○下流部では、**ゼロメートル地帯が広がっているため**、大規模な洪水氾濫が発生した場合、浸水域が広範となり、浸水深が大きく、浸水継続時間も長期間に及ぶ氾濫特性をもつ。

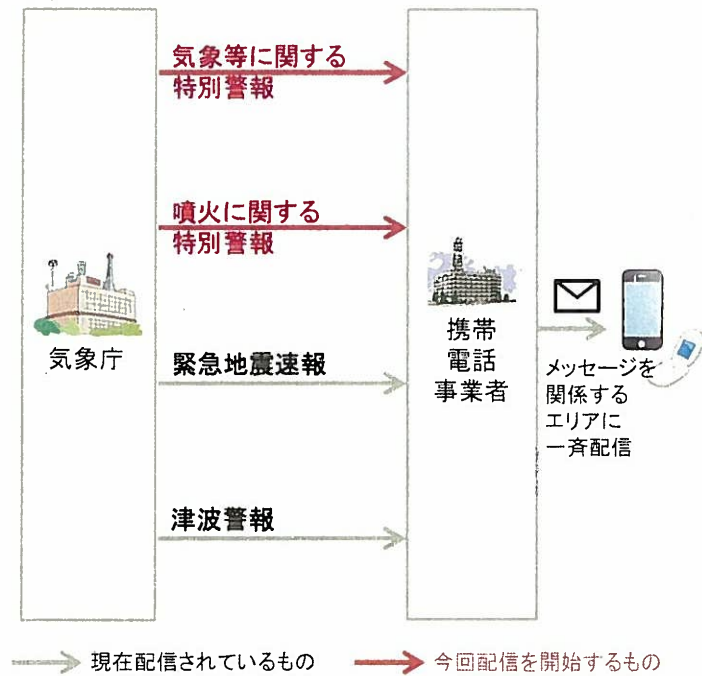
阿賀野川の下流部に広がる越後平野は、海拔ゼロメートル地帯を含む標高の低い地域です。このため、ひとたび氾濫すると、広範囲に被害が生じる危険性があります。



緊急速報メールによる気象等及び噴火に関する特別警報の配信

～11月19日より、全ての特別警報が緊急速報メールで配信されます～

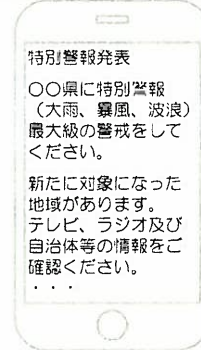
◎緊急速報メールの配信



※この他、地方公共団体等から、避難勧告などの「災害・避難情報」が緊急速報メールにより配信されています。

◎新たに配信を開始する特別警報

気象等に関する特別警報

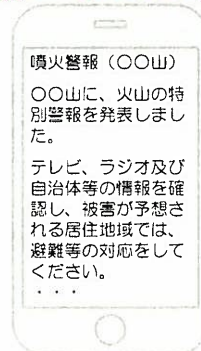


大雨
暴風
波浪
高潮
大雪
暴風雪

の特別警報

を対象市町村に初めて発表したときや、種類を追加したときに配信。

噴火に関する特別警報



○噴火に関する特別警報(噴火警報)を対象市町村に初めて発表したときに配信。

- 【噴火に関する特別警報は、以下の場合に発表】
- ① 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生あるいは切迫している場合(噴火警戒レベル5(避難))
 - ② 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警戒レベル4(避難準備))
 - ③ 噴火警戒レベル未設定火山については、上記①②に相当する場合

※上記いずれの場合も、解除のときは配信されません。

特別警報等の緊急速報メールでの配信

現在

…緊急速報メールでの配信対象

特別警報	その他
大雨特別警報 (台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合)	
暴風特別警報 (数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、暴風が吹くと予想される場合)	
波浪特別警報 (数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、高波になると予想される場合)	
高潮特別警報 (数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、高潮になると予想される場合)	
大雪特別警報 (数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合)	
暴風雪特別警報 (数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合)	
噴火警報(居住地域) (居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合)	
緊急地震速報 (震度6弱以上の揺れが予想される場合)	緊急地震速報 (震度5弱以上の揺れが予想される場合)
大津波警報 (高いところで3メートルを超える津波が予想される場合)	津波警報 (予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合)

今後(本年11月19日以降)

…緊急速報メールでの配信対象

特別警報	その他
大雨特別警報 (台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合)	
暴風特別警報 (数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、暴風が吹くと予想される場合)	
波浪特別警報 (数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、高波になると予想される場合)	
高潮特別警報 (数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、高潮になると予想される場合)	
大雪特別警報 (数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合)	
暴風雪特別警報 (数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合)	
噴火警報(居住地域) (居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合)	
緊急地震速報 (震度6弱以上の揺れが予想される場合)	緊急地震速報 (震度5弱以上の揺れが予想される場合に)
大津波警報 (高いところで3メートルを超える津波が予想される場合)	津波警報 (予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合)

緊急速報メールによる気象等及び噴火に関する特別警報の配信について

現在、気象庁が発表する緊急地震速報及び津波警報については、携帯電話事業者を介して、携帯電話ユーザーに緊急速報メールで配信しています。今後、これらに加えて、気象等及び噴火に関する特別警報についても、下記のとおり、緊急速報メールで配信することとなりましたので、お知らせします。

これにより、気象庁の発表する全ての特別警報が緊急速報メールで配信されることとなります。

なお、本件については、携帯電話事業者においても、報道発表されます。

1. 開始日時

平成27年11月19日（木）11時

2. 対象者

携帯電話（NTTドコモ、KDDI・沖縄セルラー（au）、ソフトバンク）ユーザー

3. 緊急速報メールで新たに配信する情報

○気象等に関する特別警報（大雨、暴風、波浪、高潮、大雪又は暴風雪の特別警報）

○噴火に関する特別警報（噴火警報（居住地域））

（参考）

特別警報は、暴風や大雨、火山噴火等により重大な災害の発生するおそれが著しく大きい場合に発表するもので、以下の種類があります。

・大雨 ・暴風 ・波浪 ・高潮 ・大雪 ・暴風雪 ・噴火 ・地震動 ・津波

問い合わせ先

気象庁総務部企画課防災企画室

電話 03-3212-8341（内線 2229）

歯科診療情報の標準化

- 東日本大震災における身元確認: 宮城県の統計では、①身体特徴・所持品等が86%, ②歯が10%, ③DNAが1%, ④指掌紋が3%である。歯科による身元確認の有効性が改めて示された一方で、下記の課題が浮き彫りとなった。

【課題】

- 津波等によって歯科診療情報が失われる事態が多発した。
- 統一された歯科データが無く、人海戦術によって歯科情報を再入力した。

【歯科診療情報の標準化へ】

- 以上の経緯から、厚生労働省では平成25年度より「歯科診療情報の標準化に関する実証事業」を開始し、新潟県歯科医師会がこれを受託した。
- 県歯科医師会では、県内の歯科医院の協力の下マークシート様式によるデンタルチャートを用いて実験を行い、これにより極めて高い精度で身元の絞り込み(上位1%以内を調べれば99.8%の人が見つかる)が可能であることを実証した。
- これをベースとして、更にISO(国際標準化機構)で検討中のデータとの整合性も考慮した、「口腔状態の標準データセット」が平成28年3月に策定される見込みである。

新潟市歯科医師会の警察協力医会において、2008年に小菅栄子先生(群馬県検視警察医)、青木孝文(東北大学教授)を招聘し、X線画像の自動照合について講演を行った。これがきっかけとなり、翌2009年に、新潟県歯科医師会が主管した、第8回警察歯科医会全国大会で、両氏をお招きしてのシンポジウムを開催し、情報技術を用いた歯科による身元確認の重要性を日本歯科医師会に提言。そのわずか1年半後に東日本大震災が起こった。このような経緯から、新潟県が厚生労働省より歯科情報の標準化事業を受託することとなった。

標準化によって可能になるもの



歯科情報登録シート(歯科医院からのデータ提供) 第1面

■患者情報

患者番号									
0									
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									

記入日

(カナ氏名)
患者氏名

住所

郵便番号

電話番号 ()

		最終来院日		
		年	月	日
年号				
平成	0			
	1			
昭和	2			
	3			
大正	4			
	5			
明治	6			
	7			
	8			
	9			

		生年月日		
		年	月	日
年号				
平成	0			
	1			
昭和	2			
	3			
大正	4			
	5			
明治	6			
	7			
	8			
	9			

性別	
男	<input type="checkbox"/>
女	<input type="checkbox"/>

■保険情報

保険者番号

続柄

記号

番号

■医療機関情報

医療機関番号									
0									
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									

医療機関名称

医療機関所在地

郵便番号

電話番号 ()

備考

歯科情報登録シート(歯科医院からのデータ提供) 第2面

各歯について当てはまるすべての項目にマークして下さい

E D C B A A B C D E

8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8

健全歯														健全歯													
C1-C3(治療中を含む)														C1-C3(治療中を含む)													
半埋伏歯・埋伏(分かる範囲で)														半埋伏歯・埋伏(分かる範囲で)													
部分修復	CR充填,セメント充填ほか													CR充填,セメント充填ほか													部分修復
	インレー,アン レー,3/4,4/5冠						金属色 歯冠色							金属色 歯冠色						インレー,アン レー,3/4,4/5冠							
	アマルガム充填													アマルガム充填													
	窩洞の形態 (金属修復物のみ記入)													窩洞の形態 (金属修復物のみ記入)													
全部修復	全部歯冠修復(FMCほか)													全部歯冠修復(FMCほか)													全部修復
	前装冠(HR,MBほか)													前装冠(HR,MBほか)													
	HJC,セラミックほか													HJC,セラミックほか													
Br	支台歯(インプラントも可)													支台歯(インプラントも可)													Br
	ポンティック													ポンティック													
残根・根面板ほか														残根・根面板ほか													
欠損														欠損													
義歯(人工歯あり)														義歯(人工歯あり)													
インプラント														インプラント													
仮歯(TEK,プロビほか)あり														仮歯(TEK,プロビほか)あり													

※カルテから歯科情報を転記する場合、上欄の情報が得られないときは、以下の2項目を追加して使用してもよい。

歯牙あり(状態は不明)														歯牙あり(状態は不明)													
情報なし														情報なし													

E D C B A A B C D E

8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8

健全歯														健全歯													
C1-C3(治療中を含む)														C1-C3(治療中を含む)													
半埋伏歯・埋伏(分かる範囲で)														半埋伏歯・埋伏(分かる範囲で)													
部分修復	CR充填,セメント充填ほか													CR充填,セメント充填ほか													部分修復
	インレー,アン レー,3/4,4/5冠						金属色 歯冠色							金属色 歯冠色						インレー,アン レー,3/4,4/5冠							
	アマルガム充填													アマルガム充填													
	窩洞の形態 (金属修復物のみ記入)													窩洞の形態 (金属修復物のみ記入)													
全部修復	全部歯冠修復(FMCほか)													全部歯冠修復(FMCほか)													全部修復
	前装冠(HR,MBほか)													前装冠(HR,MBほか)													
	HJC,セラミックほか													HJC,セラミックほか													
Br	支台歯(インプラントも可)													支台歯(インプラントも可)													Br
	ポンティック													ポンティック													
残根・根面板ほか														残根・根面板ほか													
欠損														欠損													
義歯(人工歯あり)														義歯(人工歯あり)													
インプラント														インプラント													
仮歯(TEK,プロビほか)あり														仮歯(TEK,プロビほか)あり													

※カルテから歯科情報を転記する場合、上欄の情報が得られないときは、以下の2項目を追加して使用してもよい。

歯牙あり(状態は不明)														歯牙あり(状態は不明)													
情報なし														情報なし													

自由記載欄(X線写真・口腔内写真・模型などの有無 咬合関係 特徴的な治療 義歯の種類・特徴 歯列矯正など)



新潟市委託事業 「市民発！女性の視点で防災力アップ講座」

NPO法人ワーキング ウイメンズ アソシエーション
(WWA)

1. 平成27年度事業概要

<事業の目的>

- ・ 新潟市内に居住あるいは勤務する女性の防災意識向上を図り、防災活動への参画を促す。
- ・ 女性の視点を取り入れた防災知識の普及啓発を図ることで、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制づくりを促進する。

<事業期間>

平成27年4月1日～平成28年3月31日

<実施内容>

- (1) 働く女性を対象とした防災ワークショップ (6月)
- (2) 小中学校PTA行事での保護者向けの防災教室
(7月/12月)
- (3) 自治会向けの防災教室 (11月)

4 事業開催 参加者 総数437名 (幼児～80代)

2. 本事業の特長「働く女性の視点」

<特徴1 働く女性が企画運営>

- ・「仕事中に職場で被災したら、職業人として、家族の一員として、どのような行動をとる必要があるのか」そうした不安から始まった防災事業

<特徴2 ターゲットは20～50代の働く世代>

- ・新潟市主催の防災啓発事業に参加する機会の少ない、20～50代の働く世代、子育て世代、女性たちに、防災意識を喚起する

<特徴3 オリジナルの防災ポケットメモの活用>

- ・WWAオリジナルの防災ポケットメモを使って、発災後に家族とどのように連絡をとるか、どこに集合するかなど、“自分事”として具体的に考え備える

<特徴4 家族と一緒に参加する>

- ・保護者と児童と一緒に参加し、家族で話し合う“家族で防災会議”を提案。災害に備えて、情報共有を図ることが大切であることを伝える

<特徴5 新潟市の防災課との連携>

- ・新潟市の備蓄品の展示紹介や避難所運営について説明
- ・自助、共助、公助の考え方を市民に周知する



My 防災ポケットメモ 働くママ版

表面（連絡先、集合場所など）

裏面（非常持ち出し品記入）

記入欄「すぐに子どもを迎えに行けない時に誰に頼みますか？」

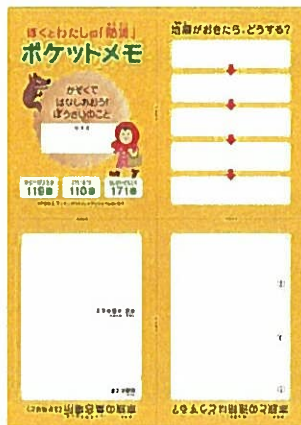
家族の写真、子どものお気に入りのおもちゃなども備えることを紹介



My防災ポケットメモ 児童版

表面(家族との集合場所など)

裏面(連絡先など)



▶ 働く女性版、働くママ版、一般用、児童用の4種類あり

新潟県防災推進協議会 新潟市防災推進協議会 新潟市消防局 新潟市消防団
親子で防災教室 My防災メモを作るよ
参加無料

*もしもの時に、あわてずに、落ち着いて行動できるように防災について親子で一緒に考えてみませんか？

日時 12月1日(火)
 14:45~15:45
場所 小林小学校 体育館

- 防災ミニ講演
- 新潟市備蓄品も100円ショップで揃えられる 非常持ち出し品の紹介
- 防災メモ作成
- 新潟市防災推進協議会キャラクター ジーゴ・キョーゴの防災体操

■主催/新潟市 ■協力/特定非営利活動法人フーキングウイメンズアクションセンター

<小学校で開催した事業>
 保護者の参加を促すために
 授業参観後に開催

<感想>

・1時間という限られた講座だったが、新潟市防災キャラクターの登場で場が和み、児童も楽しそうに防災体操を一緒に踊ることができた。

・災害発生時の行動について家族で具体的に話し合い、災害への備えを考えるきっかけになったと思う。

①新潟市防災課職員によるミニ講演（15分）

- ▶ 会場に新潟市の備蓄品を展示、紹介
- ▶ アレルギーの有無を考慮し、アルファ化米はアレルギー対応用を用意。備蓄品自体は最低限の量であるとの説明。
- ▶ 災害時に避難所が開設された場合、避難所の運営は地域が主体となる。地域のつながりを日頃から大切に。



②防災ポケットメモ作成（20分）

- ▶ 先生や家族が近くにいる帰宅途中に災害にあったら…を想定して親子で考えながら記入

<問いかけ内容>

- ▶ 地震が発生したらどうする？
- ▶ すぐに子どもを迎えに行けない場合の対応は？
- ▶ 家族の集合場所は？

（グラウンドの大きな木の所など具体的に第3候補まで）



③100円ショップで揃えられる 非常持ち出し品の紹介（5分）



- ▶ NPO法人ワーキングウイメンズアソシエーション会員の防災士が提案

④ジージョ・キョージョの防災体操（10分）

- ▶ 「ジージョ（自助）」 「キョージョ（共助）」
災害時に自分の命を自分で守る「自助」、共に助け合う「共助」
の大切さを呼びかける新潟市防災マスコットキャラクター
- ▶ 災害時に自分の命を自分で守る行動が身に付く歌とダンス
- ▶ 水をすくうようにしながら手を頭の後で覆う“ダンゴ虫のポーズ”
で『自分の命は自分で守る』動作を楽しく学ぶ



働く女性のための防災ワークショップ（3時間）

- ▶ 新潟市防災課職員によるミニ講演（20分）
- ▶ 中越地震を経験した働く女性による体験談（15分）
 - 仕事と家庭 どのように対応したか
- ▶ 分科会（60分）
 - ①「働く母親として、子どもの安全をどう守り育てるか」
 - ②「職場において災害対応を迫られた時、職業人としてどのように対応するか」
- ▶ 災害食の試食、非常持ち出し品紹介
- ▶ 分科会報告 総括



3. 本事業の成果

- ▶ 1) 行政主催の防災啓発事業に関わりの少なかった働く女性、子育て世代の市民に防災意識を喚起することができた。
 - Q. 防災教室に参加していかがでしたか 大変良かった／良かった：100%
 - Q. 家族と防災について話をしようと思いましたか 思う：99%
 - Q. 参考になった点について
 - 1位「備蓄（携行）品について理解を深めることができた」
 - 2位「災害への備えを考えるきっかけになった」
 - 3位「発災時の行動を具体的にイメージできた」～参加者アンケートより～
- ▶ 2) 災害への備えは、気軽に、手軽に取り組めること。また家族や地域のひとたちと日頃から防災について話し合っておくことの大切さを紹介することができた。
- ▶ 3) 新潟市が推進している「女性の視点」を取り入れた防災知識の普及啓発を図ることで、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制づくりを促進するきっかけとなり、さらに多様な視点で防災事業に取り組む必要性も周知できた。